

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（2月定例会）会議録
開催日時	令和2年2月28日（金）午後2時から午後4時まで
開催場所	防災センター6階 講座室1
出席者	委員：攝賀議長、長谷川副議長、岩崎委員、川原委員、北村委員、木下委員、河野委員、小松委員、高橋委員、星出委員 事務局：青木主事
議題	(1) 「地域学校協働活動」について (2) その他
配付資料	資料 今後の提言の議論ポイント（事務局案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

●令和2年1月の定例会議の会議録について、承認する。

報告事項（1）社会教育委員研修会について

○議長：2月20日（木）に小平市社会教育委員の会議議長にお越しいただき、小平第八小学校を中心とした地域と学校との連携事例等について、お話しを伺った。

他市の具体的な事例を聞いたことで、西東京市における「地域学校協働活動」の方向性について、各自イメージがついたと思う。

何か補足等あれば、お願いしたい。

○委員：小平第八小学校がコミュニティスクールの指定に向けて取り組むこととなった背景としては、学校が地域と連携・協働して教育活動を一層活性化させたいという目的の下、地域で様々な活動をされていた地域コーディネーターの力も借りて「学校経営協議会」を立ち上げることとなった。

「学校経営協議会」では月に1度、地域の方々と様々な情報交換を行っているが、これにより地域との繋がりが更に増したと思う。

そして、これらの経験を通して、学校が地域・社会に開かれていることで子供たちにとって、幅の広い教育活動が展開できると感じている。

他区でも教育行政に携わる仕事をしていたが、「地域に開き過ぎること

で、かえって教育の現場が混乱するのではないか」との意見もあった。

今後、学校は教職員の理解も深め、地域と連携・協働する風土を醸成していくことも、必要だと思う。

議事（１）「地域学校協働活動」について

○議 長：それでは、これまでの議論及び事務局からの参考資料も踏まえて、提言作成に向けて進めていきたいと思う。
事務局より何か提案等はあるか。

○事務局：1月定例会時に資料「今後の提言の議論ポイント（事務局案）」を下に議論を進めていくのがよいのではないかと提案した。
こちらは過去の提言や他市の提言を参考に、骨子部分のイメージを参考としてまとめたものであるが、もし異論がなければ、こちらに則って議論を進めていくとよいと思う。
また、前回の提言作成時と同様に「ブレインストーミング（KJ法）」にて進めていくと、定例会内で議論をまとめることができ、よいのではないかと考えている。

○議 長：事務局から提言があった内容にて特に異論がなければ、そちらに則って進めていきたいと思う。

○全 員：異論なし

《ワークショップを実施》
別紙「ワークショップ結果」を参照

○議 長：これから議論を深めていくにあたって、改めて前回提言した「今後の社会教育行政のあり方について」を各自読んだうえで、次回の会に臨んでほしい。

議事（２）その他

※臨時会の開催について

・3月9日（月）時間・場所は決定次第、連絡

※次回会議（定例会）

3月27日（金）午後2時
田無第二庁舎3階会議室